

行政視察等報告書

平成30年4月5日

知立市議会議長 風間 勝治 様

会派名 市政会
代表者 石川 信生

このことについて、下記のとおり報告します。

記

会 派 名	市政会	
視察（研修）期間	平成30年3月28日（水）～29日（木）	
視察（研修）場所	地方議員研究会の研修会・東京消防庁本所防災館・要望活動	
参 加 者 氏 名	石川 信生	水野 浩
	池田 滋彦	三宅 守人
視察（研修）項目	第1日目	
	・地方議員研究会 研修会	
	テーマ 相手を知る 講師 樋渡啓祐 氏	
	・要望活動	
	大見正衆議院議員、酒井庸行参議院議員	
	「知立駅付近連続立体交差事業について」	
	「知立小学校長寿命化改良工事の交付金について」	
	「日本遺産の認定について」	
	第2日目	
	・東京消防庁 本所防災館 見学	
視察（研修）経費	1人あたり	
	交通費 20,420円 宿泊費 14,100円	
	研修受講費 15,000円 合計 198,080円	

要 望 書

知立市は、名鉄名古屋本線が東西に、名鉄三河線が南北に走り、西三河地区における拠点として重要な役割を果たしています。

この鉄道を高架化する知立駅付近連続立体交差事業は、踏切における交通渋滞や事故の解消を実現するとともに環境負荷を軽減し、分断されていた市街地の一体化をもたらします。さらに土地区画整理事業や市街地再開発事業などを面的に整備することにより都市環境改善に大きく寄与し、「魅力あるまちづくり」を実現します。

なお、平成 39 年には、リニア中央新幹線が東京－名古屋間で開業される予定となっております。平成 35 年度完了予定の知立駅付近連続立体交差事業は、リニア新名古屋駅への三河地域からのアクセス拠点となる知立駅を整備する事業であり、リニアの整備効果を三河地域に波及させるためにも必要な事業と言えます。

知立駅付近連続立体交差事業は、平成 12 年に事業認可を頂き、平成 25 年度より本格的な仮線工事に着手しており、現在は名古屋本線上り線（豊橋方）を仮線に切り替える工事に加え、本体工事に着手しており、平成 35 年度の事業完了に合わせた「まちびらき」に向け地元の機運も更に高まっているところであります。

つきましては、こうした地元の状況をご賢察頂き一層の事業の促進を図るため以下のとおり要望するものであります。

- 1 市街地における喫緊の課題である交通渋滞の解消を推進するとともに、地域の活性化や環境改善を図るため、知立駅付近連続立体交差事業を積極的に支援し、所要の予算を確保すること。
- 2 「魅力あるまちづくり」を実現するため、知立駅周辺土地区画整理事業及び知立駅北地区市街地再開発事業等を積極的に支援し、所要の予算を確保すること。
- 3 連続立体交差事業の計画的かつ円滑な実施に向けより良い予算制度を検討し、安定的な予算枠を確保すること。